

事業所自己評価 総評

公表：令和5年3月31日

事業所名 オレンジスクール 小岩第2教室

職員による自己評価		ご家庭による評価	
環境・体制整備	環境面 ・教室内は段差がないが、入り口の段差やトイレの狭さが車椅子での利用が難しい。 ・児童がわかりやすく、ソーシャルディスタンスが取れるよう、机とマットの配置を工夫しています。 体制整備 職員配置は基準を満たしております。	環境・体制整備	環境面 着目していないので分からない。 体制整備 新しい職員が入って来ているようだが、紹介などされていないためよく分からない。
児童への支援内容	児童への支援内容 ご家庭とアセスメントを行い、環境及び全般の状況を通じて療育内容を設定しております。療育前後に職員間で情報を共有しています。	児童への支援内容	児童への支援内容 初めて利用したばかりで適正であるか判断できない。
関係機関との連携	関係機関との連携 相談支援事業所や必要に応じて学校と連携を取っております。就学前や卒業後に関しては、ご家庭と相談の上決めていきたいと思っております。また、障害のない児童たちとの活動の機会に関しても必要性の分かれるところなので要検討です。	事業所の情報発信	事業所の情報発信 LINE等を通じてお話を聞いて下さり、有難く思っております。
説明責任・信頼関係	説明責任 ご契約時の際に「重要事項」「支援内容」「児童負担」等について契約時に説明を行っております。 信頼関係 HUGやLINEでの活動報告に加え、電話や送迎時に相談に応じております。	非常時等の対応	非常時等の対応 ご契約の際にご説明をしているので、特にコメントはいただきませんでした。避難訓練を12月末に行い児童の参加が少数だった為、避難訓練が行われたことが周知されておりませんでした。
非常時等の対応	非常時の対応 避難訓練、感染対策研修を実施しました。 今後も継続して実施していきます。		

↓ 事業所内で分析した結果 ↓

共通点	・HUGやLINE、電話等により児童の発達状況や課題について共有できている。 ・障害のない児童との交流の必要性に関して ・建物のバリアフリー化に関して	相違点	体制整備に関しては配置基準は満たしていますが、より良いサービスを提供する為に人員を増やしています。その為に紹介が遅れておりました。
-----	---	-----	---

↓ 事業所内で検討した結果 ↓

事業所の強み	学習支援に加え集団支援を行っております。また、情緒面に寄り添うことで安定した活動ができるように支援を行っています。	事業所の改善点	職員紹介に関しては、教室の環境が整いましたらご紹介の場を設けていきたいと思います。
--------	---	---------	---

事業所改善への取り組み

- ・令和4年12月開所の事業所内で、落ち着いて活動ができるように徐々に児童を増やしております。送迎がないことにより来所時間にバラつきがあるので、学習支援、集団支援、自由活動のスケジュールの習慣化を図っており定着しつつあります。今後更に定着を強化してまいります。
- ・教室の環境が整い次第、職員の紹介を検討いたします。

自己評価を実施しての感想

開所間もない中、ご家庭よりアンケートにお答えいただきありがとうございます。ご利用1か月では「わからない」ことも多かったのではないかと想像します。『説明』や『共通理解』に関しては日頃から心がけており、また同様の回答を頂戴したことでより一層努力をしていきたいと思います。
また、『父母会』や『健常児との関わり』に関しても、多種多様な考え方がある為事業所としても検討していきます。ご家庭のニーズに応えられるように努めて参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

保護者等向け放課後等デイサービス評価表（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名
発行数
10通
オレンジスクール 小岩第2教室
回収数
7通
割合
70%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1			新しい職員が入って来ているようだが、紹介などされないためよく分からない。	今後、お便り等を通して職員紹介をしていきたいと考えております。（配置数、専門性は備えております。）
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4			着目していないので分からない。	教室内は段差がないが、入り口に段差、トイレが狭い為、車椅子での利用が難しく利用できる児童の幅を狭めてしまっているという側面があります。
	④ 事業所の支援の質は適切であるか	6	1			初めて利用し始めたばかりで適正であるか判断できない。	支援の質を高めて、満足していただけるよう努めてまいります。
適切な支援提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	7					
	⑥ 放課後等デイサービス計画に基づき、支援が実施されているか	7					
	⑦ 放課後等デイサービス計画に記載された目標が達成されているか	6	1				
	⑧ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	6	1				
	⑨ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 1	2	不必要 4		・小学校で一緒に活動が出来ている。児童クラブや児童館の内容が分かりません。 ・毎日小学校で健常の児童と関われているので改めてそのような機会は不要とっております。	児童のニーズにあった対応を考えていきます。
保護者への説明等	⑩ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				LINE等を通じてお話を聞いて下さり、有難く思っております。	
	⑫ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7					
	⑬ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 1	3	不必要 3		情報交換、共有、勉強して交流したいが、なかなか時間がもてない。	児童のニーズにあった対応を考えていきます。
	⑭ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2				苦情についての対応についての説明を行っております。苦情があった場合には迅速かつ適切に対応してまいります。
	⑮ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	⑯ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7					
非常時等の対応	⑰ 個人情報に十分注意しているか	7					
	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7					
満足度	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1				
	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	7				・息子はオレンジスクールに通うのを毎週楽しみだと言っております。 ・行く前は自転車かめんどう等と言うが、帰りはいつも満足した様子で楽しかったのが伝わってくる。	
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	6	1			送迎サービスが無いため負担が大きい。それ以外は満足している。	

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名

オレンジスクール 小岩第2教室

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☒	☐	☐	児童がわかりやすく、ソーシャルディスタンスが取れるよう、机とマットの配置を工夫しています。	法令を遵守しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	☒	☐	☐	出勤する職員は体温測定を行い、消毒、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底しています。体調不良の職員が出た場合は代わりを立て、適正な配置に整えております。	法令を遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	☐	☒	☐	事故なく安全に過ごせるよう、環境設定をしています。	入り口やトイレが狭いため、車椅子での利用が難しく、利用できる児童の幅を狭めてしまっているという側面があります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	☒	☐	☐	常勤のみでの社員会議、全体会議、ケース会議を毎月実施しています。	今後勤務形態が変わった時には、全職員が出勤する曜日を選択して会議を実施する予定です。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☒	☐	☐	今後、検討してまいります。	毎年、実施します。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☒	☐	☐	今後、検討してまいります。	毎年、HPで公表します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	☐	☐	☒	「第三者評価機関」の評価は実施していません。	外部の評価は積極的に取り入れていけるようにします。
	⑧	職員の資質を向上を図るため、研修や学習の機会を確保しているか	☒	☐	☐	採用後1ヶ月以内に、「発達障害基礎理解講座Ⅰ、Ⅱ」を受講することが義務付けられております。	今後は「発達障害学習支援サポーター」「発達障害学習支援シニアサポーター」の研修・資格取得を目指します。また、その機会を確保しております。
適切な 支援の 提供	⑨	支援の質の向上を図るため、研修や学習の機会が確保されているか	☒	☐	☐	「障害者虐待防止研修」や「身体拘束適正化委員会研修」「感染症対策研修」を行っております。	療育に必要とされる研修を受講することが推奨されております。今後は研修受講者と、ケース会議の時間に知識を共有しより良い療育ができるように努めます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☒	☐	☐	情緒特性、障害特性、認知特性、学力水準の観点からアセスメントを行います。そのほか、日常生活全般の状況を通じて適切な支援内容を検討しています。	療育前後のミーティングで職員間での情報共有を行っています。ご家庭との連絡を取り、よりニーズに応えることができるようにいたします。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☒	☐	☐	アセスメントツールはないので、外部で行った検査結果をご家庭から頂いております。	現状、ツールはありませんが、特性ごとにアセスメントを行っています。検証と支援方法の立案に日々取り組んでいきます。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	☒	☐	☐	学習支援は、教材準備担当指導員が中心となり準備しています。毎日のミーティングで情緒面のサポートと全体の流れをチームで話し合っています。	療育後に個別の支援が適切に行われたかを話し合い、次の支援へと反映させていきます。
	⑬	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	☒	☐	☐	学習プログラムは、個々のニーズに合わせて提供し（児童によっては、宿題のみの方もいます）、集団支援は1週間、1か月で課題を変えております。	集団支援内容に関しては、繰り返し行うことで身に付くこともある為、現在行われているローテーションで行う予定である。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	☒	☐	☐	開所して日が浅いが、今後の休日、長期休暇は時間割で活動予定である。	休日は長い時間のご利用となる為、活動にメリハリをつけていくようにしていきます。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	☒	☐	☐	学習は個別活動、遊びと集団支援を通して集団活動を行っております。	今後も継続していきます。
	⑯	放課後等デイサービス計画に基づき、支援を実施しているか	☒	☐	☐	職員全体が児童の状況を把握し、支援計画に基づいて支援を実施しております。	今後も継続していきます。
	⑰	放課後等デイサービス計画に記載した目標が達成できているか	☒	☐	☐	支援計画に記載された目標が達成されるように支援をしております。	今後も継続していきます。
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	☒	☐	☐	職員全体が児童の状況を把握し、支援計画に基づいて支援を実施しております。	今後も継続していきます。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	☒	☐	☐	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	今後も継続していきます。

関係機関や保護者との連携	㉔	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☒	☐	☐	支援終了後正しく記録し、支援計画に沿った支援が行われているかを検証しています。	今後も継続していきます。
	㉕	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	☒	☐	☐	初回は3～4か月に1回を目安に実施いたします。その際に個別支援計画を作成しています。	2回目からは半年に1回実施していきます。
	㉖	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	☒	☐	☐	個別支援計画をもとに、活動内容を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	㉗	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	☒	☐	☐	児童発達支援管理責任者が対応しています。	今後も継続していきます。
	㉘	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	☒	☐	☐	必用に応じて、連携を行っています。	今後も継続していきます。
	㉙	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	☐	☒	☐	医療職スタッフを配置していないため、ご利用の際は主治医、ご家庭とご相談をさせていただいています。	今後も継続していきます。
	㉚	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	☒	☐	☐	必用に応じて、連携を行っています。	
	㉛	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	☒	☐	☐	必用に応じて、連携を行っています。	
	㉜	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	☐	☒	☐	令和4年12月開所で、現在研修を受ける機会がありません。	今後機会がありましたら、研修に参加していきたいです。
	㉝	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	☐	☐	☒	開所間もないので、今後検討してまいります。	前例はありません。
保護者への説明責任等	㉞	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	☐	☐	☒	開所間もないので、今後検討してまいります。	前例はありません。
	㉟	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☒	☐	☐	HUGマイページを利用し、支援終了後、毎回様子をお伝えしています。	面談以外の場でも送迎時やHUGのコメント欄、LINEや電話等でのやりとりも大事にしています。
	㊱	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	☐	☒	☐	面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。積極的とは言い難い部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思います。	
	㊲	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☒	☐	☐	ご契約の際にご説明しています。また、教室内にも提示をしています。	今後も継続していきます。
	㊳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☒	☐	☐	面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。積極的とは言い難い部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思います。	
	㊴	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	☐	☒	☐	現在は実施に至っておりません。今後検討していきたいと思ます。	
	㊵	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☒	☐	☐	苦情に繋がりのやすい状況を予め想定し、定期的に対応を振り返っていきます。	苦情対応の方法については契約時にご説明することに加え、相談室内に提示しています。
	㊶	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	☐	☒	☐	教室内の活動の様子や目的をわかりやすく伝えるようにしています。	HPでブログを公開しています。
	㊷	個人情報に十分注意しているか	☒	☐	☐	ロッカー、書庫、事務室は施錠できるようにしています。	今後も継続します。
	㊸	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	☒	☐	☐	お伝えする情報は紙面化を心がけています。児童へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。	今後は映像での情報伝達も利用していけるようにします。
	㊹	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	☐	☐	☒	開所間もないので、今後検討してまいります。	ご家庭、児童が希望されるかもふまえて検討していきたいと思ます。
	㊺	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	☒	☐	☐	事業所内では、それぞれのマニュアルを策定し職員間で共有しています。	ご家庭にもご周知いただけるよう提示を工夫していきたいと思ます。
	㊻	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	☒	☐	☐	12月に訓練を行いました。	夏と冬の長期休暇中に訓練を実施継続していきます。

非常時等の対応	㊸	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	☒	☐	☐	事業所内でマニュアルを作成し、研修を行っています。	今後も継続していきます。
	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	☒	☐	☐	身体拘束に関わる同意書は、契約時に取り交わしており、その際に理解、了承を得ています。また、そもそも身体拘束を行わなくてはいけない状況をつくらないう、環境設定や課題調整し、適切な関わり方を行っています。	今後も継続していきます。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	☒	☐	☐	ご家庭より情報をいただき、全職員に共有しています。	今後も継続していきます。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	☒	☐	☐	今後、他事業所で起きたヒヤリハット事例集の共有を行う予定です。	ケース会議で議題に取り上げ、リスクマネジメントの意識を高められるようにいたします。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。